

げんりゅうのさとしんさか

源流の里

しんさか



「源流の里しんさか」のこの10年の人口減少と高齢化は、町内で2番目に進んでいる地域となっています。

振興会では、急速に進展する過疎高齢化を視野に入れながら、それに対応できるよう、施策の展開を図っており、その一端をここに紹介します。

福祉弁当の配食サービス

この施策は、平成4年に「地域福祉」と「高齢者の食」を考慮し始めたものです。

シルトピア油木で作られた食材を夕食用にパック詰めし、高齢者の方にお届けしているもので、年1回、12月に行っており大変喜ばれております。

そこで来年以降は、自前の加工施設を活用し、希望者の方に経費を負担していただくかたちで、毎月1回お届けしようと計画しています。回数を増やすことで、配達時に健康管理や安否確

住み続けたいと感じる地域づくりの実現のために

認もでき、高齢者の抱える不安解消に役立つものと思っています。

男の料理教室

この教室は「一人暮らしに直面した時、困らないために」という単純な動機から、平成10年に始めたもので、毎年2月に、10～15人の参加で行っています。出来栄はなかなかのものですが、一人立ちするにはまだ時間がかかりそうです。女性を交えての昼食会は華やかで、皆楽しくやっています。



餅作り

餅作りは、「地域の高齢者の安心な生活をサポートし、地域の振興、活性化を図る」という目的で会員を募り、出資金を出し

合って、平成19年から始めました。四季に合わせての餅の注文は年々増えており、昨年度は発足時の2倍となっていて、順調な運営ができています。高齢化が進む中、年々忙しくなってくるのではと張り切って取り組んでいます。

地域の元気を生産する

この事業は、地域づくりの集大成として、今年度立ち上げたものです。

この事業を思い立ったのは、「この新坂の地に住み続けたい」という住民の強い想いと、この想いを何とかして実現したいという皆のエネルギーでした。

この事業を考える上で「高齢者、女性、地域資源」の3つをキーワードにしました。これを活かせる施設を建設し、小さな産業を創出することで、「住み続けたいと感じる地域、元気のある地域」をつくっていかうと思っています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 源流の里しんさか（会長：渡辺和幸）
- 〔世帯数・人口〕 79戸・160人
- 〔人口構成〕 15歳以下3.1%、16～64歳33.1%、65歳以上63.8%
- 〔班構成〕 8班（藤野呂東、藤野呂西、今保田川瀬、政井田、畑、手入、桜尾、下田川瀬）
- 〔組織構成〕 総務部、教養部、生産部、生活部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長8人、部会長4人、事務局2人